

作品 No.85



生きものの“つぶやき”:

「この想い届いて欲しい…なあ…」

エッセイ:

去年、祖母の家に家族で帰省し、夕方頃いとこと私の兄弟と一緒に山の麓の川沿いを散歩していた時のことです。道端になにか落ちてるよ！といとこが教えてくれたので近寄ってみると、くるみの殻の片割れのくぼみに偶然小さなカエルが乗っかっていました。こんなことめったにないと撮ったのがこの写真です。どこか遠くを見て、まるで恋に落ちた青少年のようだなあと私は思いました。こんなに静かできれいなたそがれを私は初めて見ました。好きな人を思い出しているような、純粹で淡い恋心が感じられ、受験期で疲れていた私の心はとても温まりました。高校1年生になった今、私もこの小さなカエルのように、人を好きになるっていう気持ちを大切に過ごしていきたいと思いました。(313字)

生きものの紹介:

多分ニホンアマガエル 日本で1番馴染みがある 樹上生活に適したカエルで水辺付近でも森林でよく見つかる

撮影場所・日時:

岩手県更木市・2019年8月20日

応募者の自己紹介:

1. 杉本 菜野 (すぎもと なの) / 東京都市大学等々力高等学校 1年
2. バスケット部
3. 将来の夢: 獣医

審査員よりひとこと

よく撮れましたね、この瞬間。情景が伝わる抜群の1枚。